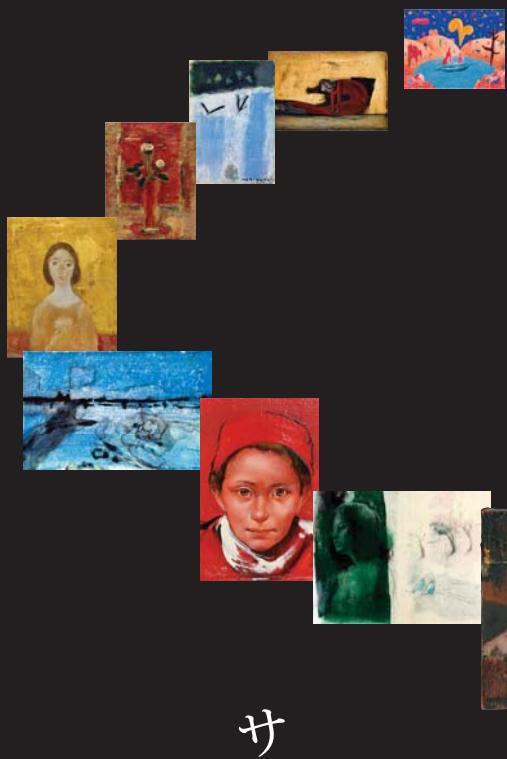


彦彦冬本山コレクション展



サラリーマンコレクター30年の軌跡。



2010年1月14日[木]~2月21日[日]
休館日：月曜日 佐藤美術館

入場料 一般 500円 学生 300円

開館時間 午前10時~午後5時 金曜~午後7時 (※入場は閉館の15分前まで)

主催：財団法人佐藤国際文化育英財団 日本経済新聞社

協賛：アーティカル

協力：office if 金澤アートイベントカレンダーアイコール 株式会社筑摩書房

世界文藝社 団塊サイト・Premium Age 放送大学

サラリーマンが美術作品をコレクションすることは、なかなかできることではありません。山本冬彦氏は30年間で約1300点の作品を蒐集してきました。しかし、特筆すべきはコレクター歴や購入点数だけではありません。自ら「アートのソムリエ」と称し、画廊の巡り方や美術品購入のアドバイス、美術をより身近なものにするための普及活動を精力的に行い、一般の方々への美術愛好の扉を開いてきました。

また、若手作家に対しては作品を購入することが最高の支援という考え方のもと、作家の育成にも尽力することを「個人メセナ」活動として実践してきました。

佐藤美術館も美大の学生に奨学金を支給したり、若手作家のサポートを目的として約20年活動をしてきましたので、山本氏との活動の接点も多く、ある意味同士のような存在と言つても過言ではありません。

本展は、山本冬彦氏がそれぞれの時代の目線でコレクションした作品のなかから厳選した160点の作品により、単なる蒐集を超えた活動を感じながら、ひいては新たな美術の魅力を見つけることを目的に開催するものです。

今回の特色は、山本氏が同世代の作家を中心に購入してきた「コレクターの眼」と、お薦めの若手作家を社会人に紹介するために購入してきた「アートソムリエの眼」の二つの視点から展示を構成します。

近年、コレクターが主役の展覧会が美術館や画廊で数多く開催されています。しかしその多くは今流行の狭義の「現代美術」が中心であるような気がしてなりません。山本氏は日本画、油彩、版画などジャンルを問わず、現在活躍している同時代の作家をすべて広義の「現代美術」と捉え、幅広い作品を蒐集してきました。

等身大の目線で蒐集してきた作品に触れて頂くことにより、一人でも多くの方々が自分の好みに従って幅広くアートを楽しみ、身近に感じてもらえるならこれほど素晴らしいことはありません。

出品作家

青山 恒幹／浅井 淳子／麻生 志保／アダム ブース／阿部 清子／荒川 靖彦／石居 麻耶／石踊 純一／石踊 達哉／伊藤 彬／伊藤 哲／岩崎 純里／岩田 壮平／岩田 俊彦／内田 あぐり／卯野 夏子／榎 俊幸／海老 洋／蜷子 真理央／大河原 愛／大沢 拓也／大谷 有花／大矢 雅章／大藪 雅孝／岡村 桂三郎／岡本 啓／小木曾 誠／荻原 季美子／小田 さゆり／尾長 良範／柏本 龍太／片岡 渡／加藤 隆之／加藤 ゆわ／門倉 直子／金井 訓志／瓜南 直子／兼 未希恵／金子 朋樹／柄澤 齋／河内 成幸／河嶋 淳司／川瀬 伊人／菅 亮平／岸田 淳平／北田 克己／城戸 悠巳子／久野 和洋／小嶋 悠司／小林 英且／齋 正機／斎藤 典彦／斎藤 裕紀／寒河江 智果／坂本 友由／七戸 優／四宮 義俊／集治 千晶／杉田 陽平／諫訪 敦／高松 和樹／満沢 具幸／龍口 経太／田端 麻子／田村 香織／田村 木里子／智内 兄助／鶴川 勝一／富田 菜摘／雷長 敦也／内藤 瑠子／長沢 明／原 崇浩／東園 基昭／樋口 佳絵／開 光市／平澤 重信／平田 達哉／広田 稔／藤井 勘次／藤井 蓮／舟越 桂／舟田 潤子／舟山 一男／堀込 幸枝／前田 昌良／前本 利彦／マコトフジムラ／増田 直人／松崎 和実／丸山 勉／三島 祥／ミズ テツオ／三瀬 夏之介／溝部 聰／宮 いつき／毛利 太祐／本木 ひかり／森田 洋美／森本 秀樹／森山 知己／安岡 亜蘭／安田 悠／山口 啓介／山崎 佳代／山崎 龍一／山中 現／山本 麻友香／吉岡 順一／吉岡 正人／渡辺 香奈／渡辺 満／わたなべ ゆう／綿引 明浩

山本冬彦プロフィール

本名：勝彦

1948年石川県生まれ。

東大法學部卒業後、三菱レイヨンに入社。5年後、大東京火災に転職。総合企画室、市場開発部、人材開発室などを経験した後、合併によりおいおい損保の理事・広報部長となる。その後、2006年7月より独立法人国立大学財務・経営センターの監事を経て、2008年10月より放送大学学園の理事に就任し現在に至る。

その間、社外勉強会・異業種交流会などのネットワーク活動を続け、サラリーマンの生き方に関する本を数多く執筆。仕事・社外活動・趣味を3本柱とした「変り種サラリーマン」の道を歩む。趣味の分野では30年近く毎週末に銀座・京橋界隈のギャラリー巡りをし、「サラリーマンコレクター」として無名の作家を中心に集めた作品は1300点を超える。最近では収集品を公開する「コレクション展」を実施したり、「アートソムリエ」と称して、ビジネスマン・OLたちへのアート普及や若手作家支援に力を注いでいる。

山本冬彦コレクション展

2010年1月14日(木)～2月21日(日)
休館日：月曜日 佐藤美術館

サラリーマンコレクター30年の軌跡。

新聞・雑誌などの取材も積極的にこなすほか、美術雑誌やアート関連ネットなどにアート普及記事を執筆。六本木ヒルズや美術雑誌などで実際の画廊まわりを体験できる「ギャラリーツアー」を実施するほか、アート普及や若手作家支援のための講演や企画・イベントへのアドバイスを行っている。2009年8月には、これまでの体験を踏まえたギャラリーめぐりの入門書として、「週末はギャラリーめぐり」(ちくま新書)を発行。

山本冬彦 週末はギャラリーめぐり

サラリーマンコレクターとして30年間で1300点もの作品を蒐集。アートソムリエ・山本冬彦が、限られた時間やお金で楽しむノウハウを披露。画廊の詳細マップ付き

○ちくま新書 定価735円(税込)

筑摩書房 サービスセンター ☎048(651)0053 FAX048(666)4648

◎付帯イベント *イベントの参加には展覧会の入場料が必要です。

イベント1 1月16日(土)13:30～

「山本冬彦と巡る銀座ギャラリーツアー・著書サイン会」

当館でのギャラリートーク終了後、山本さんの案内で銀座界隈の画廊を巡ります。
ギャラリートークの定員は100名 銀座ギャラリーツアーの定員は15名(当日整理券を先着順に配付します)

イベント2 1月24日(日)15:00～ 定員100名

トークショーゲスト：諫訪敦・三瀬夏之介 「コレクターと作家の出会い」

現在最も注目されている作家をゲストに迎え山本さんとともにコレクターと作家の関係についてお話ししいただきます。

イベント3 2月7日(日)15:00～ 定員100名

トークショーゲスト：岩田壮平・大矢雅章・菅亮平「コレクターと若手作家について」
若手作家支援とは？若手作家が同世代のコレクターを捜すにはどうしたら良いのでしょうか？
山本さんと三人の若い作家のさまざまな思いをお話しいただきます。

イベント4 2月11日(木・祝)15:00～ 定員100名

トークショーゲスト：木村悦雄、澤登丈夫、御子柴大三「蒐集の哲学について」
個性的なサラリーマンコレクター3名を交えてコレクションのきっかけや愉しみについてお話ししいただきます。

<お問い合わせ>

財団法人佐藤国際文化育英財団 佐藤美術館

東京都新宿区大京町31-10
TEL.03-3358-6021 FAX.03-3358-6023
E-mail : sato-museum@nifty.com
HP : <http://homepage3.nifty.com/sato-museum/>

交通：

JR総武線千駄ヶ谷駅より徒歩5分

JR総武線信濃町駅より徒歩6分

都営大江戸線国立競技場駅A3出口より徒歩4分

■駐車場はございません。

★信濃町駅からの道順(おすすめです)

信濃町駅正面にて慶應病院があります。駅を背にして慶應病院の左脇の道(JR線路沿い)を直進。下り坂になっておりますので、下りきった辺り四谷第六小学校向かいです。

★千駄ヶ谷駅からの道順

千駄ヶ谷駅の改札を出ると左にコーヒーショップとコンビニがあります。その道をすすむと大きな通り(外苑西通り)にぶつかります。それを左折し、しばらくすると歩道橋のある交差点(新宿御苑正門前*普段は閉鎖)にぶつかりますので、それを右に曲がって三軒目です。

